

事業者温室効果ガス削減報告書概要(第一計画期間) 第3年度分

1 事業所の概要

事業者の名称	仙台ターミナルビル株式会社		
事業所の名称	エスパル仙台本館・東館 ホテルメトロポリタン仙台本館・イースト		
事業所の所在地	宮城県仙台市青葉区中央一丁目1番1号		
主たる事業	不動産賃貸業・管理業		
事業者の該当要件	<input type="radio"/>	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	BEMSの活用等により、日常のエネルギー管理を綿密に行い、計画的な省エネルギー設備への更新により、二酸化炭素排出量を毎年1%以上削減する。		

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2019年度	基準排出量	14,243 t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	0.107
	目標年度	2022年度	目標排出量	13,805 t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	0.1037
			削減率	3.07%	削減率	3.08%
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2020年度	排出量	12,300 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	0.09242
			削減率	13.64%	削減率	13.62%
	排出量等の増減理由	コロナウィルスの影響により営業時間短縮、来客者数や宿泊稼働率の大幅な減少により、エネルギー使用量も減少した。				
	第2年度	2021年度	排出量	13,077 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	0.09534
			削減率	8.18%	削減率	10.89%
	排出量等の増減理由	第2年度もコロナウィルスの影響により営業時間短縮また、来客者数や宿泊稼働率が減少したことから、エネルギー使用量は、基準年度と比較し大幅な減少となった。				
	第3年度	2022年度	排出量	13,437 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	0.09797
削減率			5.65%	削減率	8.43%	
排出量等の増減理由	第2年度に引き続き、第3年度もコロナウィルスの影響により営業時間短縮また、来客者数や宿泊稼働率が減少したことから、エネルギー使用量は、基準年度と比較し減少となった。					

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	94%	目標年度	100%
	第1年度	94%	実施状況の説明等	2022年度に地下レストラン街の照明器具LED化の計画があり、LED化になれば事業所内の照明が80%以上高効率タイプになると見込まれる
	第2年度	94%	実施状況の説明等	地下レストラン街の照明器具LED化が次年度以降に延期となった。
	第3年度	100%	実施状況の説明等	地下レストラン街の照明器具LED化が2025年度以降に延期となった。

様式第2号別紙1

選択対策の実施状況	項目		実施状況
	エネルギー使用量の見える化(前年度比較)		実施済
	エネルギー使用量の見える化(分計による課題発見)		実施済
	外気冷房		実施済
	冷温水ポンプの回転数制御、自動流量制御		実施済
	ファン、ブロワ、給気系統の保全管理		実施済
	デマンド管理		実施済
その他の対策の実施状況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	廃棄物削減対策の実施	エコステーション設置によるリサイクル促進	実施済
	廃棄物削減対策の実施	コンサルティング会社導入によるゴミの減量化	実施済
	廃棄物削減対策の実施	フードドライブの取り組み	実施済